

理学療法かわら版

一般社団法人

山形県理学療法士会

目次

会長挨拶	1	広報部、組織部、ニュース編集部を紹介	6
第30回山形県理学療法学会のご案内	2	活動報告	7
支部局の紹介	3	事務局より 編集後記	8



会長挨拶

会長 岩井 章 洋 (山形県立中央病院)

会員の皆様には、日頃より当会の活動についてご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症は早い速度でウイルスの変異を繰り返しいつ収束するか見通せない状況ですが、今年度も感染予防と活動推進のバランスを取りながら、事業を停滞させることなく進めていかなければならないと考えています。医療、介護、福祉等の現場に勤務し、患者・利用者等の健康と安全を守りながら理学療法を提供している会員の皆様にはあらためて敬意を表します。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、事業計画がすべて順調に進んだわけではありませんが、理事はじめ会員の皆様のご協力のもと無事事業を終えることができました。研修会、勉強会、症例検討会等においては、感染状況に合わせて開催形式等を工夫しながら実施してきました。会員の皆様にはご不便をおかけしたところもありますがご容赦ください。

さて、今年4月より新生涯学習制度が開始され、これまでの生涯学習制度とは大きく様変わりしています。新人の学習機会のみでなく、生涯にわたって自己研鑽を積める制度になっています。これまで当会が取り組んできた、支部の症例検討会や専門領域推進部における研修会・勉強会は、新生涯学習制度と連動し、これまでのように会員自らが学習するための場として継続していきます。会員の皆様が制度の中でしっかりと受講でき、単位・ポイントが取得できるように支援していきます。ぜひ多くの会員の方に参加していただき、登録理学療法士を取得し、自己研鑽に努めていただくよう期待しています。

また、当会は職能団体として、3つの大きな目的があります。1つ目は学術的な活動と教育的な活動、2つ目は職能的な活動、3つ目は社会貢献活動です。学術・教育的な活動については、会員の自己研鑽のための学習機会の場の提供を中心に実施しています。職能活動は、自分たちの身分や職域を守り広げていく活動であり、これまでになく重要になっています。診療報酬や介護報酬への対応に加え、地域における活動の場を広げていく取り組みが必要になっています。そのためには当会組織の強化が重要であると考えています。社会貢献は、専門職として地域社会に貢献し、県民の人生を豊かにするために必要な活動であると考えています。具体的には、健康増進活動、介護予防活動、腰痛予防活動などが当てはまるかと思います。

我々理学療法士は、今こそしっかりと地に足をつけて、患者・利用者の自立のために励むとともに、地域社会からも信頼される職種としてあり続けたいと思います。

最後に、今年は当会が創立されてから50年の節目の年になります。これまで運営に携わってこられた諸先輩方の想いを引き継ぎつつ、これからの未来にチャレンジしていく団体でありたいと思っています。今年度も皆様と一丸となり諸課題に取り組んでいきますので、今後とも厚いご支援、ご協力をお願いいたします。



第30回山形県理学療法学術大会のご案内

第30回山形県理学療法学術大会

大会長 福田 守 (山形医療技術専門学校)

第30回山形県理学療法学術大会大会長の福田守と申します。6月18・19日に山形テルサにてテーマを『実践！シングルケーススタディ ～理学療法の質を高めるために～』と題し開催する予定となっております。コロナ禍で外部の講習会および研修会への参加の自粛を余儀なくされる今日、自身の質を高めるための機会が少なくなっていると思います。まず、理学療法の土台となるのは、対象者との関わりの中で最適な治療を展開し、結果を出すことだと考えます。理学療法プロセスは、情報の活用の仕方や再評価、治療の変更のタイミングなど試行錯誤しながら行われるべきであり、ルーティンワークにならない個別性のある取り組みが必要です。そのため、個々の理学療法の質を向上させるためには、理学療法プロセスのどの部分で躓いているのかを明確にする必要があります。その手段の一つとして、「シングルケーススタディ」があります。このシングルケーススタディを通して自らの評価、治療の効果を検証し日々の業務に活かす。その繰り返しで理学療法の技術が向上し患者様への貢献につながると考えます。そのため、シングルケーススタディの必要性和重要性を再確認することがさらなる質の向上を図るための第一歩になると思います。これらのことから、本学会を通し、対象者に合った自身の理学療法の提供の仕方について再確認し、様々な知見を学ぶ機会にしたいと考えております。

特別講演では、山形県立保健医療大学の加藤浩先生より理学療法診断に必要なエビデンスの活用方法やケーススタディの思考過程についてご講演いただきます。また、シンポジウムでは、急性期、回復期、維持期（訪問）の職域で勤務している先生方より、職域ごとにシングルケーススタディの進め方をご講演いただき、その後ディスカッションの場を設け、考え方やそれぞれの職域間の伝達および連携について参加者の皆様と情報を共有したいと考えております。本学会の新しい試みとしてシングルケースセミナーを行います。これは、運動器、神経、内部、予防領域の認定理学療法士の先生方を講師とし、各領域のシングルケースの考え方をご講演いただきます。そのため、多領域での考え方を知る良い機会になると思います。さらに教育講演では山形県立保健医療大学の村成幸先生より、「肩の痛み」と題し肩の解剖学的特徴に伴う代表的疾患の特異性と最近の治療についてご講演いただきます。

皆様のご協力により現在40題を超える演題をいただいております。その演題の口述発表ならびにポスター発表も予定しておりますので、活発な会になりますよう多くの方にご参加いただき本学会を盛り上げていきましょう。



医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

日医器連通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434
E-mail: somu@took.co.jp

医学書のことならお任せください

日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般



株式会社 高陽堂書店

山形市大野目 3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com

安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短前腕を含む)

・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士
安達 武雄
山形市江保3丁目15-1
☎(023) 681-0456

山形県指定一級義肢装具士
安達 武雄
山形市江保3丁目15-1
☎(023) 681-0456

Your Healthy and Active Life With
YAMAGATA PROSTHESES INSTITUTE
あなたの健康で快適な人生のために、山形義肢研究所ができること

有限会社 山形義肢研究所

ACCESS 山形市飯田五丁目5番39号
TEL 023-632-5214 FAX 023-632-5215

支部局の紹介

山形県理学療法士会では4つの支部があり、共通の理念を持ちながら支部ごとに独自の活動を行っています。支部の活動は、症例検討会や勉強会を開催しながら教育・学術的な研鑽や交流を図ることを目的としています。また、昨年度は新型コロナウイルスの感染症拡大により活動の縮小を余儀なくされましたが、従来であれば懇親会も開催し、親睦を深めながら会員同士の連携を図っています。支部活動は山形県理学療法士会の基盤となるものです。

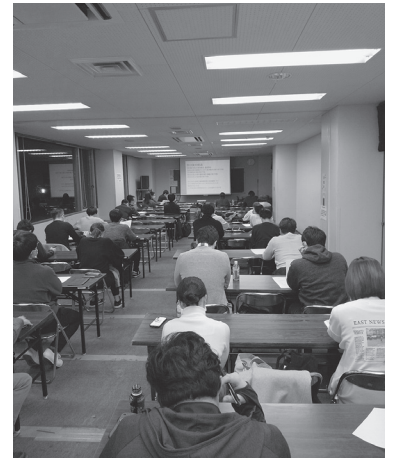
村山支部



支部局長 長 沼 誠 (山形医療技術専門学校)

村山支部では症例検討会を年4回開催しております(必要に応じて勉強会1回)。しかし昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により3回の開催となりました(3回目と4回目を同時開催)。1、2回目は感染対策に十分配慮したうえで山形市のコミュニティセンターをお借りし対面式で、3回目は急激な感染拡大によりオンラインでの開催となりました。コロナ禍以前は支部員が所属している施設をお借りして、実技も交えながら検討を行ってまいりました。1回の症例検討会で1～2症例の検討を行っております。症例検討会というと発表者が質問攻めに遭うようなイメージを抱くかもしれませんが、当支部の症例検討会ではグループワークを活用しながら参加者全員で発表者の疑問や課題を解決に導くように取り組んでいます。また近年では参加していただく先生方の所属も様々で、急性期や回復期の先生はもちろんのこと、維持期、訪問・通所および介護老人保健施設等多岐にわたっていますので、多角的な検討も行えるようになりました。臨床における疑問点を経験の少ない先生方でも遠慮なく検討できるような場を提供していきたいと考えております。

今年度の活動は昨年同様に症例検討会を4回程度開催する予定です。感染状況にもよりますが、可能な限り対面式で開催し、もし感染状況が悪化すればオンライン開催または対面とオンラインのハイブリッド開催を行いたいと考えております。経験を問わず参加しやすい活動を目指して行っておりますので、多くの先生方の参加をお待ちしております。また、今年度は新生涯学習システムが始まりましたので、それに対応できるよう企画して参ります。また、今年度は第30回山形県理学療法学会が村山支部内で開催されます。多くの会員の皆様からご協力をいただき、有意義な学会大会になることを願っております。



思いやりリハビリ・まごころケア

(有) 福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) **26-1725**
FAX (0234) **26-6780**



義肢・装具・車いす
他整形医療器具製造・販売

(有) エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

オーリンク株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房 (有)

座位保持装置・車椅子
電動車椅子・歩行器等

東置賜郡高畠町一本柳2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>

最北支部



支部局担当理事 **多田 雄一**（最上町立最上病院）

新年度が始まり、皆様如何お過ごしでしょうか。私は大きな異動などなく、雪国ならではのワクワクとした春を感じています。この度、最北支部の活動を紹介する機会をいただきましたので、簡単にご紹介いたします。

1. 最北支部の特徴

最北支部は山形県理学療法士会を4つの地域に区分した中で、最も所属会員が少ない支部です。主に山形県立新庄病院と北村山公立病院を中心とした医療圏域を主体としています。人口や地域、文化交流的に大きく分けることができ、新庄地区を北側、北村山地区を南側ととらえることができます。所属会員数が少ない分、顔の見える関係が築きやすく、優しい先輩が多い地区です。病院や施設が違う場合でも積極的に交流を持ち、お互い刺激しあえる関係を目指しています。

また地域が広い反面、会員数が少ないため、行政との関わりを持つ機会があります。地域包括ケアシステムの推進に関わる会員も増えてきており、それぞれの会員には治療技術や知識だけではなく、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力も求められるようになってきました。地域の医師会や薬剤師会など医療職団体との連携も必要となっております。医療、介護に必要な資源が乏しい地域ですので、理学療法士としての役割が多彩で責任ある行動が求められます。そのため会員一人一人が主役となり、地域住民のために尽力できる環境であり、やりがいのある毎日を送っております。

2. 最北支部の事業

2022年度は勉強会と症例検討会を企画しております。コロナ禍の終息がみえずオンラインでの開催を余儀なくされておりますが、今後の動向を注視しながら適切に対処してまいります。オンラインのメリットは移動に時間やリスクを伴わず、比較的自由に参加できることだと思います。子育て世代の会員からは研修会に参加しやすいと好評です。対して、人とのつながりが希薄になり、技術研修の必要性について、多くの皆様から開催を希望する声が聞こえております。最北支部では会員一人一人の声を大事にしております。コロナ禍の動向によりますが、対面での技術研修や、エキスパートとの症例検討など楽しい企画を考えておりますので、是非ご参加をご検討ください。他地区からのご参加も大歓迎です。オンラインの利点を最大限に利用し、多くの皆様と交流を持ちたいと考えております。

置賜支部



副会長 **井上 由香**（介護老人保健施設美の里）

会員数は千人を超え、加えてコロナ禍の影響で会員同士の交流が難しくなっています。支部活動は、コロナ禍の状況に応じて、対面やオンラインで行っています。支部では、近隣施設の会員の顔が見える活動を行うことで、会員同士の交流と親睦を兼ね、症例検討を中心に勉強会を開催しています。置賜支部では、大勢の前で発表しづらい会員のために、米沢市と米沢市以外の2つの施設に分かれて、グループで検討を行う地区別カンファレンスを実施しています。

気軽に普段の臨床で困っていることや相談したいことを会員で共有し、ディスカッションしやすい場を部員が中心となり設けています。ここでの役割は、コミュニケーション能力を養うことや、臨床場面で気軽に申し送りなどの連携を円滑にできるようにネットワークを作ることです。特に少人数職場の会員は特に参加していただければと思います。最近はオンラインでの開催が続いており、雑談等はあまりできていませんが、対面開催になれば雑談から様々な情報を収集することもできます。



勉強会では、地区別カンファレンスで発表した症例からグループ毎に1例を、その際のアドバイスを基に再度修正し、全体で症例発表します。加えて、症例に役立つトピックスをミニレクチャーとして企画しています。昨年度の内容は、「脳卒中理学療法の基礎」「膝関節の機能解剖」「脳卒中の治療に必要な基礎知識」でした。また、学会発表へ繋げられるように部員が中心となって支援し、さらに多くの症例の検討を重ねることで、知識や技術が高められる一助になるように活動しています。今年度からは、新生涯学習制度に沿って、会員の生涯学習を支援していきます。



症例検討は生涯学習には最も欠かせない基本的な学習方法です。普段の臨床を発表するということは勇気のいることだと思いますが、積極的に症例報告を行いましょう。

庄内支部



支部局担当理事 **五十嵐 めぐみ** (日本海酒田リハビリテーション病院)

昨年度より庄内支部の担当理事をさせていただいています五十嵐めぐみです。よろしくお願いします。

庄内支部では例年、一症例検討会と勉強会を企画し、会員同士研鑽を重ねています。一症例検討会は、北庄内と南庄内から一症例ずつ、急性期、回復期、生活期のそれぞれの病期ごとに発表しています。コロナ禍の影響で昨年度は2回しかできませんでしたが、今年度は各病期をつないでいくリレー方式で、4回開催する予定です。一人の症例が急性期から生活期までに、どのような経過をたどっていったのか、そこに至るまでにどのような問題があったのか、またそれに対して理学療法士としてどう関わっていったのかなどを発表してもらい、参加者全員が発表者から出された課題についてディスカッションを行い、次の治療に繋がる検討会を目指しています。現在の医療制度では一人の症例がどのような経過を歩んでいくのかが見えにくい状況になっていますので、どの病期の会員が参加されても勉強になるのではないかと考えています。

勉強会は、年1回、会員が興味のある分野に焦点を当て、その分野で活躍されている会員を講師にして知見を深めています。昨年度は「フレイルと低栄養」をテーマに2人の会員からレクチャーしていただきました。今年度はまだ企画段階ではありますが、予防の分野について開催する予定です。

症例検討会、勉強会後にはアンケートを行い、参加者の意見を集約し今後の支部会活動に反映させるようにしています。

是非、症例検討会や勉強会に積極的に参加していただき、臨床に生かしてほしいと考えています。また、コロナ禍の状況で会員間の交流がままならない状況ではありますが、支部活動を通し、様々な職場の会員と交流を図りたいと考えています。

LCS オーダーメイドの福祉用具
株式会社 ライフケアサポート
山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社
岡崎医療株式会社
■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023-623-0546
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235-22-0106

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>
株式会社 タマツ
本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333 / FAX 0235-25-3889

◆山形県厚生省労働省指定◆
(有) 渡部義肢
◆営業品目◆
義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュール)
〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

広報部の紹介

社会局長 丹野 則子（山形県立河北病院）



広報部は、かわら版と広報誌、ホームページの3つの方法で当会の活動に関する情報発信を担っています。

当会の事業や各部局の活動報告などを会員に向けて発信するかわら版は年3回、一般の方に向けて当会の活動などを紹介する広報誌を年1回発行しております。会員の皆様にも記事原稿の執筆などをお願いすることがあります。依頼がありましたら、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。そして、当会のホームページでは、当会の研修会開催情報などの会員向けの情報や、当会の活動情報などを広く外部に発信しております。

また、例年7月の理学療法週間に行っていた高校生の理学療法職場体験事業も広報部の担当です。これまで高校生として参加された経験のある方、理学療法士として職場体験にご尽力いただいた経験をお持ちの会員も多いと思います。昨年度は残念ながら、コロナ禍で開催することが叶わず、理学療法士の仕事について情報を得ることができない日本理学療法士協会ホームページへのリンク情報を各高等学校に発信しました。これからも高校生をはじめ一般の方々へ情報の発信を続けて参ります。今後とも理学療法の広報にご協力いただけますようお願いいたします。

組織部、ニュース編集部の紹介

事務局担当理事 石川 慎一郎（国立病院機構山形病院）



『組織部』

組織部の仕事は、1) 組織に関すること、2) 定款・定款細則に関すること、3) 規程・内規に関すること、4) 登記に関すること、5) 法人に関することなどです。

これは、当会の分掌規程により決められたものですが、この分掌規程を作成することも組織部の仕事です。分掌規程とは、組織における各部署や各役職、それぞれの担当者が行うべき仕事を明確に分担したものです。

また、当会役員の登記および不動産の維持および管理も担っています。

当会ホームページの組織部のコーナーに、定款や各種規程が掲載されていますので是非一度ご覧ください。

『ニュース編集部』

毎月1日に皆様の職場に配信しているFAX通信「ニュースToday」を作成しております。研修会情報や各部からのお知らせ等を掲載しております。重要な情報が掲載されておりますので、毎月目を通していただければ幸いです。当会ホームページにて過去の発刊分も見ることができますので是非一度ご覧ください。

あなたの笑顔が見たいから
株式会社 蔵王サプライズ

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL (023) 674-9600
支店・営業所 仙台支店／新庄営業所／庄内営業所

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする



株式会社 シバティンテック

■山形支店 〒990-2323 山形県山形市桜田東二丁目1番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853
本社(仙台)・庄内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンター

令和 3 年度職能局座談会

令和 3 年 9 月 25 日に、職能局座談会をオンラインで開催しました。職能局座談会は、テーマを「医療・介護分野それぞれの悩みや取り組みを共有しよう！」として、医療・介護現場の実情や悩み、要望について共有し、職場機能の強化や医療介護連携の強化を促進するために行いました。参加者は 35 名でした。

職能局座談会では、医療介護連携の促進を目的に 4 テーマを設けて活発な意見交換を行いました。

介護保険部からの報告

職能局担当理事 田 中 秀 典 (老人介護保険施設のぞみの園)

全体の課題としては、連携には医療・介護におけるデジタル化も必要であるものの、連携先の事業所や職員と顔の見える関係を作り、意見交換や相談しやすい環境の構築が重要であることが挙げられました。

介護保険領域や在宅系サービスにおける課題は、連携に重要である情報を入手するための根本的な手段や手順が十分に整備されておらず病態整理やリスク管理、予後予測などに苦慮している事業所が多くみられており、円滑な支援のためにはそれらの早急な解決と、地域での運用を構築していくことが必要であると考えます。

上記以外にも様々な課題や問題が挙がり、臨床の実態を共有・理解する上で大変有意義な会となりました。ご参加いただいた方には改めて感謝申し上げます。詳細は当会ホームページ会員サイトに掲載しておりますのでご一読ください。

医療保険部からの報告

職能局担当理事 中 川 悠 介 (天童市民病院)

職能局 3 部門（医療保険部・介護保険部・業務推進部）合同座談会での意見および医療分野における課題点について報告いたします。

- ・退院後に介護サービスが決定する場合などは情報共有が難しくなることも多い。そのため、退院時の情報提供書やリハビリテーション連携手帳などを活用し、情報が途切れないような対策が必要。
- ・介護保険分野では特に医学的情報（現病歴、リスク、禁忌事項）の情報が足りないことが多い。また入院中のリハビリテーション目標や退院時点での未達成課題の内容、理学療法プログラムなどの情報が求められている。その点を意識して情報提供を行う。
- ・入院前に介護保険分野でのリハビリテーションを利用している方の場合、医療保険分野側から介護保険分野側へ情報提供を依頼し、病前の生活を意識して入院後のリハビリテーションを行うことで「参加」への認識も深まり、良いリハビリテーションを提供できると考えられる。介護側からは利用者の入院後の病態が分からないため先行して情報提供は行い難いといった側面もあることを認識する。
- ・常に他領域との交流を意識し、顔の見える関係作りを心掛けることが地域連携をスムーズにする要因である。
- ・医療保険分野のセラピストも通所・訪問系の介護保険分野の研修会へ参加することにより、制度理解や退院後の生活について認識を深め、患者様の退院後の生活を具体化することができる。また医療介護連携へとつながる一助となる。

今後も職能局の活動へのご参加、情報提供をよろしくお願いいたします。

福祉領域理学療法推進委員会 情報交換会

職能局（業務推進部）担当理事 芦 埜 達 哉 (在宅リハビリ看護ステーションつばさ天童サテライト)

障害福祉に携わる施設に勤務するリハビリテーション専門職の人数は、医療機関や介護保険施設・事業所に比べると非常に少なく、さらに 1 人職場もしくは少人数の職場であることが多い傾向にあります。現場では多様な障害（知的・精神・身体・発達）から生じる生活上の課題を抱えた方に対し、悩みながらも理学療法の知識や技術を最大限に発揮しようと奔走していることが委員会活動からみえてきました。

令和4年1月16日に、「福祉領域での悩みや取り組みを共有しよう」というテーマで、オンライン形式での情報交換会を開催しました。はじめに、希望が丘しおりの吉田謙介氏より、障害福祉サービス事業の概要や県の計画に関する情報提供がありました。障害福祉総合支援法は障害者自立支援法を前身とする法律で、障害がある方を支援するために平成25年4月に施行されました。その中で定められる障害福祉サービスには、大きく分けて「介護給付」と「訓練等給付」があります。特に「訓練等給付」は、自立した生活や地域社会へ移行していくために必要な訓練を行うためのサービスで、生活動作のみならず、就労に必要な知識や能力を訓練する機会・環境を支援するものも含まれます。

この分野における理学療法士の役割や関わり方、実際の取り組みについてはまだまだ知られていない現状があり、他の事業所でどのようにサービスを提供しているかも知る機会がありませんでした。

そこで今回は、①所属する事業所での現状と理学療法について、②報酬や加算の算定方法、③福祉領域で理学療法を展開する中での悩みの3つのテーマを掲げて情報交換を行いました。7名の参加ながら、それぞれの事業所で求められる役割は大きく異なり、施設ごとに工夫されている様子が伝わってきました。事例によっては病院と同様の関わり方を求められる場合があるものの、環境的な要因等で困難な場合もあるそうです。また、加算取得に必要な書類作成や評価項目の抽出についての話題で議論が進み、非常に中身の濃いやりとりができたように感じられました。

情報交換会を終えて、「課題について相談する機会が持てて良かった」、さらには「相談できるセラピストが増えて良かった」という感想が寄せられました。障害福祉分野に関わる他事業所・施設の理学療法士と交流するきっかけが設けられたことは大きな収穫です。令和4年度も現場の悩みや課題に寄り添っていけるような事業を企画しています。お互いが働きやすい環境を整えていくことを目標に取り組んで参りますので、領域に関係なく気軽にご参加ください。

事務局より

【会員異動届の手続きについてのお願い】

新年度となり勤務地を変更された方も多くことと存じます。

施設に勤務されている会員で自宅会員として登録している場合は、速やかに勤務先を登録し、勤務先が変更になった場合は異動申請手続きを行なってください。会員の皆様には、改めてご自身の会員情報登録状況のご確認をお願いいたします。

なお、登録状況の確認は日本理学療法士協会ホームページのマイページの「登録内容の変更・確認」より行えます。勤務先の変更や改姓などの申請は、「登録内容の変更・確認」より手続きを行なってください。皆様に情報が速やかに伝達できますように何卒ご協力をお願いいたします。

編集後記

かわら版通巻28号を刊行するにあたり、岩井会長よりご挨拶を頂戴し、福田学術大会長より大会のご案内をいただきました。また、地域ごとの支部活動や部門の紹介、職能局担当理事による職能局座談会、福祉領域理学療法推進委員会での情報交換会の活動報告を掲載いたしました。身近な支部の活動や刊行物にも興味を持っていただければ幸いです。本年は当会結成50年目の節目の年となります。また、当会学術大会も第30回という記念の年となります。今後とも広報活動にご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

広報部 山形県立河北病院 柴田 拓哉



株式会社大風印刷 〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘 1-2-6 TEL.023-689-1111
●天童営業所…☎023-654-5715 ●東根営業所…☎0237-53-0117 ●仙台営業所…☎022-399-7861
●東京営業所…☎03-5829-6650 ●ガッタハウス…☎023-631-5579

■発行／一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者／岩井 章洋

■編集者／丹野 則子 柴田 拓哉

■広報部／E-mail : ptkouhoubu@yahoo.co.jp